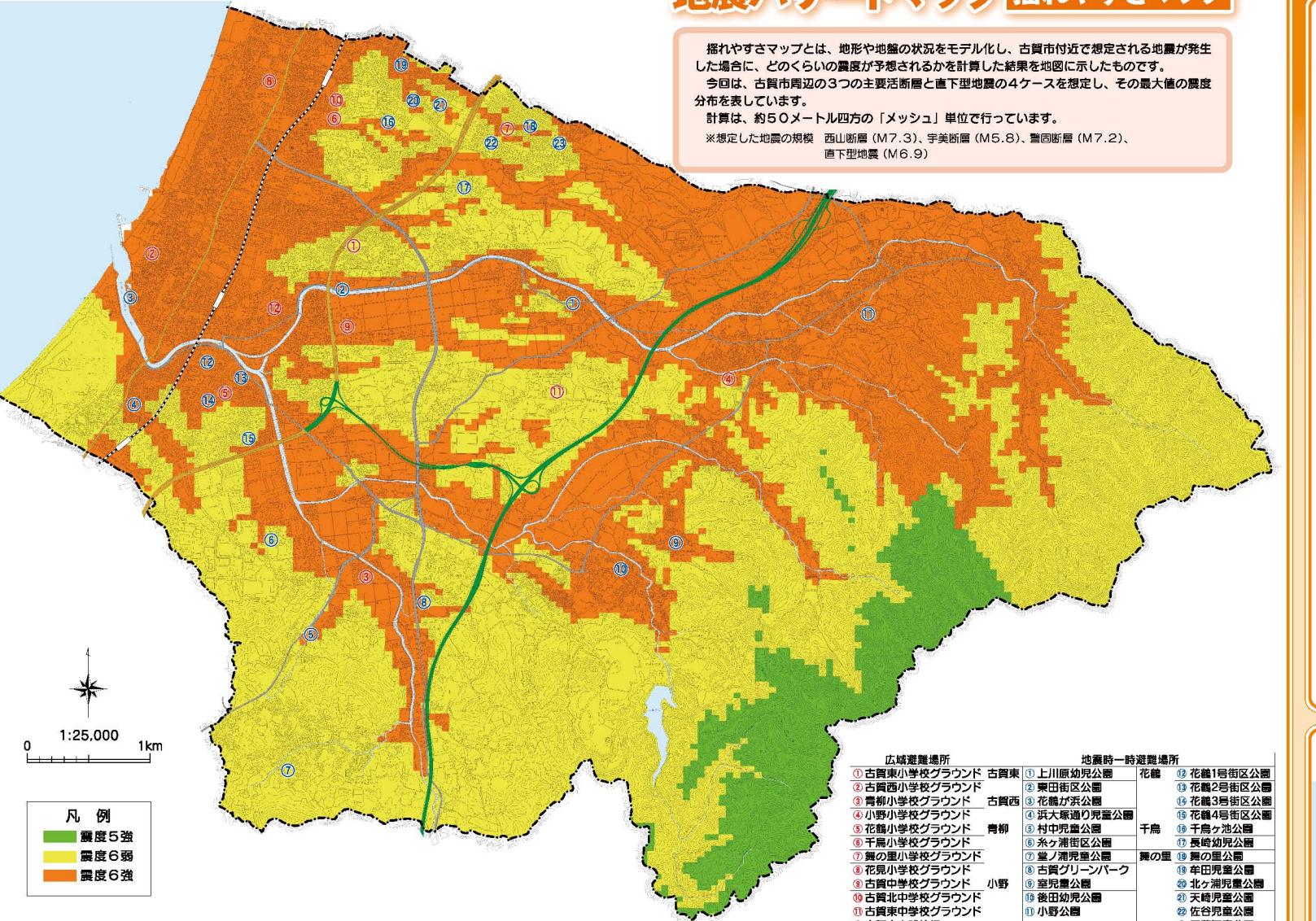


# 地震ハザードマップ 摆れやすさマップ

揃えやすさマップとは、地形や地盤の状況をモデル化し、古賀市付近で想定される地震が発生した場合に、どのくらいの震度が予想されるかを計算した結果を地図に示したもの。今回は、古賀市周辺の3つの主要活断層と直下型地震の4ケースを想定し、その最大値の震度分布を表しています。

計算は、約50メートル四方の「メッシュ」単位で行っています。  
※想定した地震の規模 西山断層(M7.3)、宇美断層(M5.8)、警固断層(M7.2)、直下型地震(M6.9)



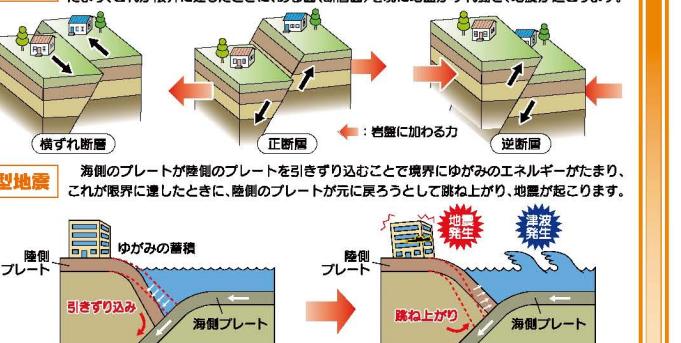
凡例  
震度5強  
震度6弱  
震度6強

# 地震災害

まず、身の安全を確保しましょう。  
大きな地震では、家具の転倒や建物の倒壊のおそれがあります。

## 地震の起こる仕組み

**活断層地震** 地下にある岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで内部にゆがみのエネルギーがたまり、これが境界に達したときに、ある面(断層面)を境に地盤がずれ動き、地震が起ります。



## 地震の揃えと想定される被害

震度 5 強	<ul style="list-style-type: none"> <li>大半の人が恐怖を覚え、物につきまとい感じます。</li> <li>棚にある食器類や本などが落ちることがあります。</li> <li>固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることができます。</li> </ul>
震度 5 強	<ul style="list-style-type: none"> <li>物にこまらない歩くことが難しい。</li> <li>棚にある食器類や本など、落ちるものが多くなる。</li> </ul>
震度 6 強	<ul style="list-style-type: none"> <li>立っていることが困難になります。</li> <li>固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがあります。</li> <li>壁のタイルやガラスが破損、落下することがある。</li> <li>耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがあります。倒れるものもある。</li> </ul>
震度 6 強	<ul style="list-style-type: none"> <li>はねないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。</li> <li>耐震性の低い木造建物は、傾くものがある。倒れるものが多くなる。</li> <li>大きな地割れが生じたり、大崩壊など地滑りや山全体の崩壊が発生することがあります。</li> </ul>
震度 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性の低い木造建物は、傾くものがある。倒れるものが多くなる。</li> <li>耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。</li> </ul>

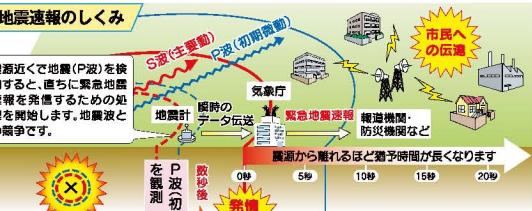
※出典:気象庁「震度階級の解説」

## 緊急地震速報が出されたら

周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しましょう。

緊急地震速報(平成19年10月1日一般向け運用開始)は、地震の発生直後に、震源近くで地震波をキャッチし、強い揃えが始まる直前にすぐお知らせする情報です。最大震度5弱以上が推定される場合に、テレビやラジオ、メールを通じて、もうじき揃えることをお知らせします。

緊急地震速報は、揃えを感じながら揃うまでの時間は、数秒から数秒しかありません。その短い間に、自分の身を守ることを最優先に行動しましょう。



## 住宅の耐震診断について

耐震診断アドバイザー制度(原則昭和56年以前に建築された木造戸建住宅が対象です。)

建物について、築年数や地盤の情報、屋の位置や屋根の仕様などを調査するアドバイザーを現地へ派遣し、地震に対する強さを総合的に検討してもらえる制度です。

(財)福岡県建築住宅センター 耐震診断相談窓口に相談を受け付けています。

詳しくは、ホームページなどからお問い合わせください。

(附)福岡県建築住宅センター <http://www.fkjc.or.jp/>

(附)日本建築防災協会 <http://www.kenchiku-bousai.or.jp>

## 住宅の耐震補強について

耐震診断の結果、耐震性に問題があった場合は補強工事が必要となってきます。耐震補強を行った建物にかかる固定費が避けられることがあります。詳しくは市役所におたずねください。下記に耐震補強工事の主な方法を示していますので、我が家に最も適した工事方法を選び、耐震補強を行いましょう。

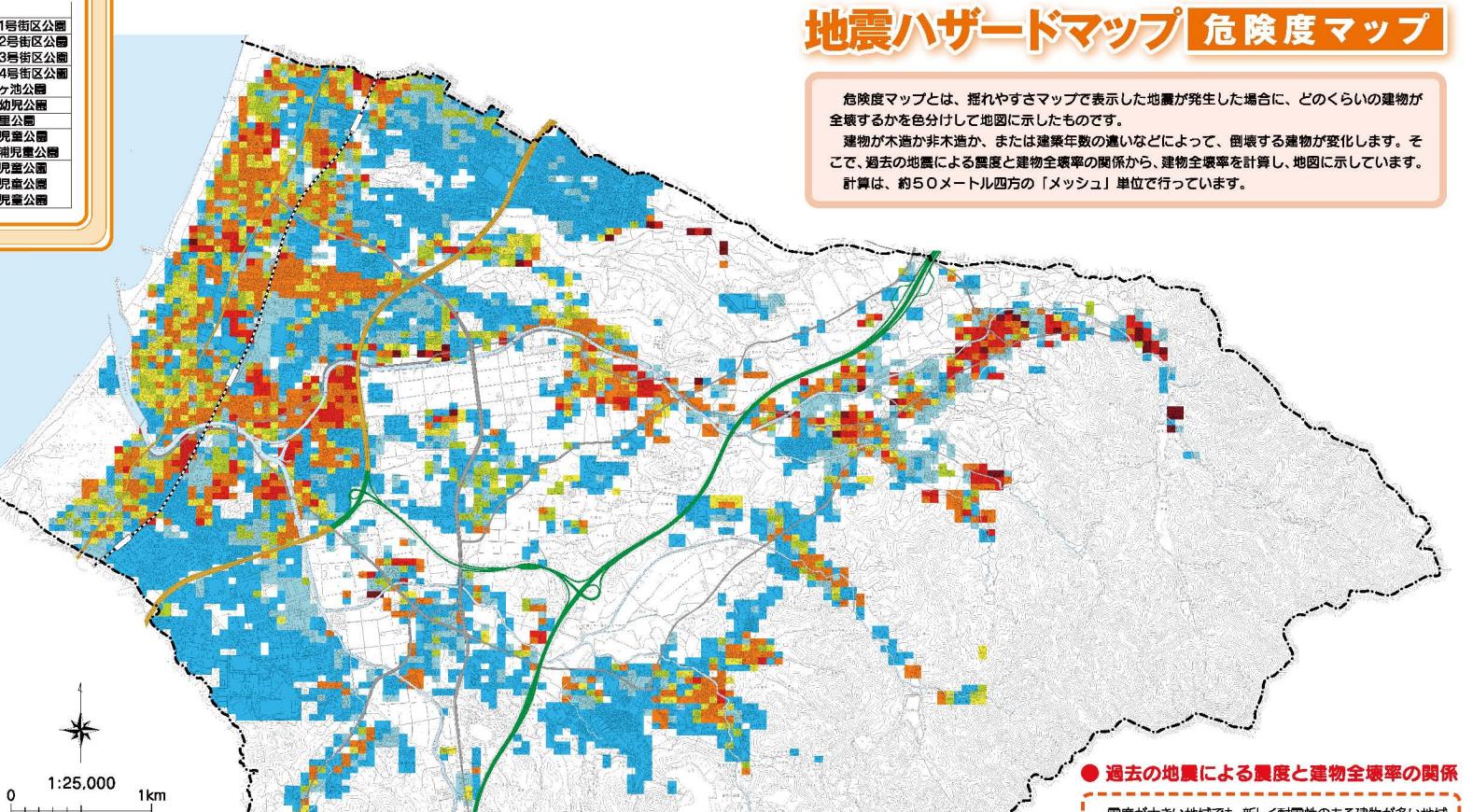


# 地震ハザードマップ 危陥度マップ

危陥度マップとは、揃えやすさマップで表示した地震が発生した場合に、どのくらいの建物が全壊するかを色分けして地図に示したものです。

建物が木造か非木造か、または建築年数の違いなどによって、倒壊する建物が変化します。そこで、過去の地震による震度と建物全壊率の関係から、建物全壊率を計算し、地図に示しています。

計算は、約50メートル四方の「メッシュ」単位で行っています。

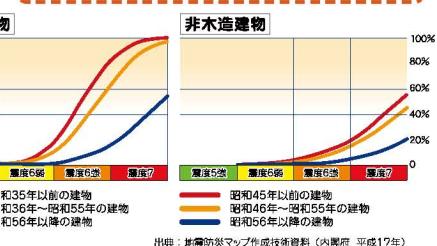


凡例

建物全壊率 0~3%
建物全壊率 3~5%
建物全壊率 5~7%
建物全壊率 7~10%
建物全壊率 10~20%
建物全壊率 20~30%
建物全壊率 30~

●過去の地震による震度と建物全壊率の関係

震度が大きい地域でも、新しく耐震性のある建物が多い地域では建物全壊率が低く、震度が小さい地域でも、古く耐震性の低い建物が密集している地域では高くなることを示しています。



出典: 地震防災マップ作成技術資料(内閣府 平成17年)

## 地震が発生したら

地震の規模によって順番が異なることもあります、代表的な行動パターンを示します。

地震  
発生

## こんなときは…

### 路上にいた!

●あわてて外に飛び出さない。  
●机などへ潜る。倒れてくる家具や落物に注意しましょう。  
●ドアや窓を開けて、逃げ道を確保しましょう。

### 車を運転していた!

●徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。  
●押さえおさめるまで冷静に、カーラジオで情報収集をします。  
●走避する時はキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、歩きで避難します。

### 電車、バスなどの車内にいた!

●机や手すりにしきりつかまる。乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとります。  
●途中で止まつても、非常ドアを開けて車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。

### エレベーターの中にいた!

●すべての階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。  
●閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡を取り救出を待ちましょう。

### 大型店舗の中にいた!

●荷物やカゴなどで頭を保護し、陳列棚の転倒や商品の落としガラスの破片に注意しましょう。  
●出口に殺到するとパニックになり危険です。店員の指示に従いましょう。

発生から  
0~2分

発生から  
2~5分

発生から  
5~10分

発生から  
10分~半日

発生から  
3日程度

## 地域の皆さんで協力しながら…

●地震発生後の数日間は、水道、ガス、電気、電話などのライフラインをはじめ、食料の供給が止まることがあります。